

令和5年6月30日

保護者各位

登別市立登別小学校長
松 田 周 一

令和5年度「標準学力調査」結果について（お知らせ）

夏至の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動の推進に対しまして、ご理解、ご協力を賜り、深くお礼申し上げます。

さて、過日、お子さんの学力をより正確に把握するため、2・3・4・5年生を対象に、4月に前学年までの学習内容で「標準学力調査」を実施いたしました。その集計結果がまとまってまいりました。前学年までの国語と算数の学力定着状況について、貴重な分析結果を得ることができました。これらにつきましては、これからの本校における学習指導に活かしてまいりたいと思います。下部・裏面に、各学年の大まかな結果の概要・全国平均との比較等について記載しておりますので、ご覧ください。

お子さん一人ひとりの個人別の結果に関しましては、学習内容の定着度合を把握し、さらなる個に応じた指導に役立ててまいります。結果・分析データにつきましては、7月3日より始まり、個人懇談週間において、各ご家庭にお返しいたします。お子さんの得点と全国平均との比較、観点別や内容別の正答率や達成状況、診断コメント等が記載されておりますので、今後のお子さんへの指導の一助として、役立てていただけますと幸いです。

<国語科>

平均正答率	知識・技能	全国比	思考力・判断力・表現力等	全国比	主体的に学習に取り組む態度	全国比
2年生	76.1	↘	49.7	↑	72.9	↗
3年生	82.2	↗	52.2	↘	79.2	↑
4年生	55.2	↘	49.4	↘	75.9	→
5年生	61.4	↘	48.6	↘	81.7	↑

<算数科>

平均正答率	知識・技能	全国比	思考力・判断力・表現力等	全国比	主体的に学習に取り組む態度	全国比
2年生	82.9	→	77.2	→	73.9	↑
3年生	69.0	↘	45.4	↘	75.1	↑
4年生	74.5	↘	39.6	↘	73.9	→
5年生	52.1	↘	38.0	↘	66.9	→

<矢印の意味>

全国平均を100として考えたときに、↑：5.1P以上 ↗：2.1P以上 →：2.0～-2.0
↓：5.1P以下 ↘：2.1P以下



<各学年の結果分析と今後の学習について>

<2年生>

<国語>

・「作文の内容を正しく読むこと」や、「おはなしの内容を正しく読むこと」については、全国に比べ高い正答率となりました。

・一方、「発表を聞き、内容に合った質問をすること」、「1年生で習った漢字・カタカナを正しく読んだり書いたりすること」「言葉を並び替えて正しい文を書くこと」について、課題が認められました。

・学年では、今後、問われていること、中心となる事柄を考えながら「落ち着いて最後まで聞く」指導、「主語や述語、助詞に気を付け、分かるように書く」指導に努めてまいります。

<算数>

・「いろいろな形の特徴を見分けること」や、「物の順番を正しく数える」問題では、おおむね全国平均並か、やや高い正答率となりました。

・一方、「(アナログ)時計を読む」問題や、「物の個数を正しく数える」問題、「足し算・引き算の計算」では、やや課題が認められました。

・学年では、今後、日常的に「時刻と時間を意識したり、時計を読んだりする活動」「たし算なのか、ひき算なのかを、問題を読んで考える学習」を取り入れ、指導してまいります。

<3年生>

<国語>

・「文中の主語・述語を正しくとらえること」「2年生で習った漢字を正しく書くこと」「文中の大事なことに注意して読むこと」については、全国平均正答率より、高い結果となりました。

・一方、特に「文のつながりに注意してお話をつくること」や、「」を正しく使うこと」「説明されている内容を正しく読み取ること」に大きく課題が認められました。

・学年では、伝えたい相手を意識して、順序だてて書くことや、話のつながりや順序を意識して読むこと、また、文を書く時の基本的な約束事などに留意して、指導してまいります。

<算数>

・「大きい数の仕組みや大小関係」「たし算の筆算」、「工夫した計算」では、全国平均をやや上回る結果となりました。

・一方、「かけ算と倍の関係の理解」「いろいろな四角形を見分けてかくこと」「ひょうとグラフ」の問題で大きな課題が認められました。

・学年では、まず、身に付いたかけ算九九を基に、倍とかけ算の関係を適切に振り返るとともに、形の弁別、分類、作図について、繰り返し丁寧に指導してまいります。

<4年生>

<国語>

・「作文を読んで、書き直すこと」「場面の様子や自分物の気持ちを考え読むこと」については、ほぼ全国平均と同様の正答率となりました。

・一方、特に、「国語辞典の扱い方とローマ字」「説明されている内容を正しく読み取ること」「3年生で習った漢字を正しく書くこと」「指示語・修飾語を正しく使うこと」の問題で、大きな課題が認められました。



・学年では、特に説明文の学習において、指示語や、修飾語があら

わす意味について考えさせるとともに、問われていること、中心となる事柄について丁寧に確認しながら、読む指導に努めてまいります。また、漢字についても、正しく書く力、語彙力が向上するよう、朝の時間を活用するなどして、引き続き繰り返し指導してまいります。

<算数>

・「かけ算の筆算」「時間と時刻」の問題については、ほぼ、全国の平均と同程度の正答率となりました。

・一方、問題文を読み、適切にかけ算や割り算を用いて解く問題、3けた・4けたの足し算、引き算で、大きな課題が認められました。

・学年では、特に割り算や大きな数の加減算で正確に計算することに加え、問題文から問われていること、求めるべきことをおさえ、どの立式で解決することができるのかを考えるなど、問題解決的な学習に努めてまいります。

<5年生>

<国語>

・「表現に気を付けて作文を書くこと」については、全国平均正答率より高い結果に、また、「慣用句の使い方」については、全国平均と同程度の結果となりました。

・一方、「4年生で習った漢字を正しく書くこと」「場面の様子を想像して物語文を読むこと」「話合いの時の望ましい意見」については、大きく課題が認められました。

・学年では、今後も、叙述をもとに、文と文のつながりを意識しながら読む指導、また、当該学年及び下学年の漢字の読み書き指導に努めてまいります。

<算数>

・「概数の意味と表し方」に関する問題では、おおむね全国平均並みの正答率となりました。

・一方、「小数の計算」「角の大きさ・垂直と平行」「四角形の性質」の問題において、課題が認められました。

・学年では、単元の中で、適切に道具を用いて「かく・はかる」、計算で求める指導を今後も丁寧に行うとともに、小数点の移動に気を付けながら正確にかけ算・足し算すること、また正しく割り算の筆算を行うことなど、正確に、丁寧に取り組む指導に努めてまいります。

<ご家庭では…>

・学校でのお子さんの健やかな学びには、家庭での生活リズムや学習習慣など、基本的な生活習慣の定着が欠かせません。

・今後とも、確実な宿題の取組、家庭学習の取組のご協力、お子さんへのお声がけをお願いします。(おおむね学年×10分以上)

・また、ノーメディアデー、アウトメディアチャレンジ週間など、ゲームやスマートフォンから遠ざかる取組、ご家庭での積極的な読書、早寝早起き朝ご飯、歯磨きなど、生活リズムを整える取組についても、積極的なお声がけとご協力をお願いいたします。